

医療機器安全管理研究会 セミナー 参加申込方法

- (1) FAXの場合
下記にご記入いただき、送信してください。
FAX番号 06-6150-1337
- (2) メールの場合
下記内容をメールにて下記アドレスに送信ください
アドレス jimu@juhs.ac.jp

申込締切は、**2021年6月19日（土）**です。
受付後、参加費の振込口座をお知らせいたします

お問合せは、TEL 06-6150-1336
またはメール jimu@juhs.ac.jp まで

当日の参加方法

- (1) FAXまたはメールにてのお申込み



- (2) 申込み受付後、参加費振込み口座のご連絡



- (3) 参加費のお振込み



- (4) 参加費受領ののご連絡



- (5) 参加に必要なURL等のご連絡

医療機器安全管理研究会 セミナー FAX申込書

FAX: 06-6150-1337

貴施設・会社名

参加者ご氏名 ① ②

③ ④

ご連絡先（代表者） 電 話 : FAX :
（代表者）メールアドレス :

連絡事項

医療機器安全管理研究会

近年、医療情報や医療機器の電子化が普及し、今後はAI搭載型医療機器などによる診療、検査、治療、情報管理や患者への直接的な介入が予測されています。手術支援ロボットに代表される医療機器では、数年内に最新の3D画像システムと高精度センサーを用いた完全自立型ロボット手術システムが市場導入され、医療現場での「シンギュラリティ」が現実のものとなりつつあります。

医療機器は多様な素材で構成され、かつ構造が複雑で、維持管理や再処理においても専門性が求められますが、AIやロボット導入に伴う「安全」に対する信頼性、妥当性、責任の明確化および医療費全般に関わる経済性に対する議論は、まだ十分とはいえません。一方、医療費抑制の観点から、SUD（単回使用医療機器）の「再製造」に対する新しい制度導入が2017年7月に厚生労働省より示されました。しかし、その導入についての信頼性・妥当性に関する具体的な手法は不明確であり、法的制度設計も不十分な状況です。

滋慶医療科学大学 医療機器安全管理研究会は、このような医療機器全般に関わる安全性、有効性、信頼性、妥当性そして経済性について、実践的な安全管理の推奨方法を提言することを目的に活動する研究会です。